

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日

令和 2年 9月 21日

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---------|--|-----------|--|
| 事業所番号 | 3490200445 | | |
| 法人名 | 株式会社 富山学園 | | |
| 事業所名 | グループホーム ほのぼの苑五日市八幡 | | |
| 所在地 | 広島市佐伯区八幡5丁目16番10号 (電話) 082-927-8400 | | |
| 自己評価作成日 | 令和2年8月25日 | 評価結果市町受理日 | |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490200445-00&ServiceCd=320&Type=search |
|-------------|---|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|-------|----------------------|
| 評価機関名 | 一般社団法人広島県シルバーサービス振興会 |
| 所在地 | 広島市南区皆実町一丁目6-29 |
| 訪問調査日 | 令和2年9月8日 |

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

当苑は五日市駅から北に3.5kmほどの静かな場所にあります。近くに新幹線が通っていますが、音は家屋内では全く聞こえません。両ユニットリビングから見える苑庭は利用者様の目の保養となっており、今はイチゴの実が大きくなりつつあり、四季の花々や八百屋に出せるようなえんどう、レタス、きゅうり、トマトなど種々作る時は利用者様に種を播いて貰い、職員や家族様が肥料を加え、日々成長を皆様楽しみにされています。食事は皆様完食で「美味しかった」と仰っています。これからも健康に注意しながら毎日を楽しみたくて考えております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

食事は3食ともに手作りであり、苑内の菜園で利用者と一緒に収穫した野菜などの食材を料理に使用し食卓に提供されており、メニューを当日に検討することで利用者の意向を適宜反映でき、美味しく食べたい物が食べれる食事が事業所の一番の特徴になっている。運営推進会議ではテーマを決めて研修を実施する取り組みがある。スタッフ会議では毎月必ず会議後半で勉強会を開催しており、サービスや職員の資質の向上に尽力している。「虐待の芽チェックリスト」を活用し、職員全員が毎月項目に沿って自己評価を行い、普段の取り組みを振り返る有効な取り組みとしてケアに活かされている。毎月消防避難訓練も実施し、地域と災害での協力体制も築くように取り組んでいる。あじさい会など行事も趣向を凝らし、普段より体操や運動、散歩や音楽療法など行い、活発な活動で利用者の日常が生き生きとしたものになるよう取り組んでいる。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(東ユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。 | 毎朝の申し送り時に出勤職員全員で唱和し「理念」に添ったケアが出来るように努めています。 | 開設時に職員全員で作成した理念を事務所に掲示している。朝礼で唱和することで共有し、職員は意識を持って業務での実践に繋げている。毎月のスタッフ会議には、代表取締役と統括部長の参加があり、会社全体の意向が職員間でも共有されている。日々のケアの中でも笑顔が多い職場風土が築かれている。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | 町内会に加入しており、町内の行事にも参加させて頂いていたが、この度のコロナウイルスにより、外出が難しくなっております。 | 町内会に加入し、回覧板や運営推進会議で地域の活動や行事を把握している。町内餅つき・ぜんざい会に利用者が参加し、神輿が事業所に立ち寄り交流を深めるなど楽しみとなっている。町内会清掃活動に参加しており、近隣の家屋とも散歩中のふれあいや日々の付き合いから会話もよく行い関係性が構築されている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | 町内会長、副会長や民生委員の方に運営推進会議に出席頂いて、認知症の方々への理解や、消防署、福祉用具、栄養指導等の講師を招いて情報を共に共有できるよう配慮しています。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 運営推進会議に出席頂いた地域の方、家族様より一言ずつコメントを頂き、申し送りで全員に伝達し、サービス向上に努めています。 | 複数の利用者家族を始め、町内会会長、自治会、地域包括支援センター、認知症地域支援推進員など様々な関係者の参加があり、それぞれにコメントをもらいながら意見交換を行っている。会議には毎回テーマを決めて研修を行っており、関係者に出前講座の依頼をするなど趣向を凝らし実施されている。 | |
| 5 | 4 | ○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。 | 2ヶ月に1回の運営推進会議に地域包括支援センターの職員や広島市認知症地域支援推進員の方に出席いただき、苑での状況や支援の報告をして、それに対してコメントを頂いている。現在コロナウイルスの為書面にて評価して頂いています。 | 管理者は介護保険に係る書類などのやり取りには役所に直接足を運び、市の職員といつも話を行い情報交換を行うなど顔の見える関係づくりを意識し取り組んでいる。市が主催する研修にも極力参加している。市が協力している佐伯区グループホームネットワークにも参加の意向である。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(東ユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 身体拘束は基本的に行っていません。玄関の施錠に関しては車の往来等の為やむを得ず行っています。6月下旬に入居された方が離設願望強いため中庭の扉は閉めさせて頂いております。 | 定期的に身体拘束廃止適正化委員会を全職員が参加する形で行っている。研修も年間4回実施し、現場での事案も振り返り全員で共有している。「虐待の芽チェックリスト」を毎月全職員が行うことで、注意しなければならない事項を可視化でき、自身の行動を振り返りながら周知できる促しとなっている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。 | 3ヶ月に1回施設内で職員全員を対象に研修しています。毎月のスタッフ会議では「虐待の芽チェックリスト」を無記名で記入し、自己覚知に勤めています。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。 | 毎月の勉強会に今後も権利擁護、成年後見制度を勉強して参ります。成年後見制度のパンフレットは職員が目を通すよう勤めております。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 入居契約時は管理者・計画作成担当者が十分な時間を取り、説明を分かりやすく行っています。理解・納得して頂ける様努めています。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | コロナウイルスの為電話にて家族様に現状を報告し、頂いた意見はケアに反映しております。 | コロナウイルス感染防止の観点から電話で日常の様子を連絡し家族の意向も確認している。以前にも家族から本人が家に泊まりたいと希望の相談に、外泊することを継続して行った例がある。事業所として利用者個々の誕生日を大事にしたいとの思いがあり本人の食べたい物やしたいことを重視して実践に繋げている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(東ユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|---|---|--|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | 毎月定期的に行うスタッフ会議に代表取締役の出席を仰ぎ、職員からの意見を聞き、運営に役立てるように努めています。 | 毎月のスタッフ会議にて職員の意見を聞いている。管理者は日々の業務の中で個人の思いや話を聞き対応を行っている。早出が付けられない職員状況下では管理者が代わり早出を行い職員の負担を軽減したり、行事や誕生会の内容も職員の意見を尊重しながら計画を進め、物品購入にも応じている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。 | 管理者として、職員が疲弊しないよう勤め、有給休暇の利用等鑑みて、職員の仕事への意欲を削ぐ事のないよう努力しております。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。 | 職員に必要な研修を受ける配慮をしつつ、現状では書物を回し読みし、向上心を持って貰う努力はしております。5月の勉強会は介護記録の内容を話し合う予定です。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | 佐伯区グループホームネットワークに参加している同業者と情報交換を行う予定です。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。 | 入居前、入居時、利用者様と会話をしながら、方向性をお互いに考え、安心した生活が出来るよう配慮しています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(東ユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。 | 不安なく生活を始められるよう利用者様、家族様と話し合いを持ち、変化に即した話し合いをこまめに行っています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | 利用者様の思い、家族様の思いを鑑み、変化があればその時にカンファレンスを行ない、プランの変更を行います。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。 | 暮らしを共にする者同士として、一緒に食事の献立を考え、副菜を取り分けたり、食器拭きをして頂く。洗濯物干し、洗濯物たたみ、掃除を一緒に行っています。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。 | 現在は面会出来ない状況下、写真を添えて生活のお姿を書面で送付したり、家族様が庭の桜を持って来られたら、マスクをお互いにされて、会話を少しの時間されています。職員が必ずお付きしております。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | コロナウイルスの前までは、以前住んでおられた町内会の友人数名面会に来られていました。 | 新型コロナウイルスの影響もあり、通常の面会などは難しい状況であるが、距離を保ちながら面会を取り入れたり、遠方の家族と電話を繋ぐことを行っている。以前は入居前に居住していた町内会の友人が面会に来られたり、定期的に自宅に外泊したりと馴染みの関係継続が行われている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(東ユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | 仲良くなられた利用者様同士が悩み事を相談したり励ましあい、支え合いながら生活されています。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | 4月半ば退所された利用者様が突然家族を探しに来苑され、家族様が迎えに来られる関係を継続しております。 | | |
| III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 日常生活の中で本人がどのような暮らしを希望されているか聞いています。言葉に出されない場合は表情を汲み取ったりご家族と相談しながら常に本人本位の支援ができるようにしています。 | 普段の関わりから希望や意向を伺うようにしている。職員で利用者毎にお手紙担当を決め、担当毎に詳しく利用者との関わりを深く持ち聴いていくことや、家族からも情報を得ながら掘り下げていく形で詳しく把握や確認をしていき、全員で共有し、一つひとつを実現できるように支援している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | センター方式を活用している家族様へ生活・介護・医療等いろんな面を聞いて利用者様のこれまでの暮らしの把握に努めています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | 日々変化をしている利用者様の状況を毎日の申し送りで報告・記録し職員で共有しています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(東ユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p> | <p>利用者様・家族様の意向・利用者様の日常生活・動作を汲み入れ、現状に即したケアプランを作成し、担当者会議で利用者様・家族様・介護職員・看護師で共に検討し、本人主体のケアプランを作成しています。</p> | <p>申し送りや連絡ノートで情報共有し、お手紙担当の関わりなどから意向や情報を集め検討がなされている。ケアプラン実施表に職員が毎日チェックを行い、プランに沿った支援を確認することや、半年毎のモニタリングにて総括し、見直しに繋げている。必要に応じ医療とも連携し計画作成している。</p> | |
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p> | <p>看護師・介護職員・ケアマネージャーと共にそれぞれの日々の記録をしています。ケアプラン実施チェック表を作成して気づき等を記入し次回のプラン立案に役立てています。</p> | | |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p> | <p>常に利用者様の思いに耳を傾け本人主体の支援が行われるよう努めています。</p> | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p> | <p>地域の行事に参加させて頂いています。また町内会の有価資源ごみ収集にも協力させて頂いています。</p> | | |
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p> | <p>協力医による往診が月2回あります。急変や転倒事故などの緊急時には看護師が各協力医とその都度連絡を取り指示を仰いでいます。救急搬送になった際は受け入れ病院の手配をされます。利用者様や家族様の意向を必要時お伝えしています。</p> | <p>希望により以前からの主治医を継続できるように支援している。その際は受診に家族の協力を得ながら実施している。協力医の往診も月2回あり、利用者の健康状態を把握し、24時間の連絡体制も整備されている。日常は看護師による健康管理が適切に行われ、主治医とも連携が図られ、安心できる医療体制がある。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(東ユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。 | 申し送りや日常生活の中で小さな変化があればすぐに看護師に報告しています。緊急時にはかかりつけ医の受診や往診を依頼しています。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 主治医により入院する病院との連携がとられ苑からも利用者様の日常生活動作の情報提供を行い安心して治療が行える体制作りを整えています。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | 契約時に重度化についての説明を行い必要時には利用者様・家族様・かかりつけ医・苑で充分話し合いを重ね、今後の方針を決めていくようにしています。 | 入居時に「重度化した場合における対応に関する指針」を説明している。重度化した際は要望により看取りも行っている。家族や主治医、職員とでカンファレンスを行い意見を重ね、方針を定め最後まで寄り添い支援している。医療対応が常時必要であるなどの場合は、適宜関係機関に繋げている。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。 | 各自急変および事故発生時のマニュアルを持ちスタッフ会議の中で勉強会をしています。1月には「危険予知訓練」という勉強会を行い現場で活かせるよう皆で学んでいます。119晚通報を落ち着いて状況報告できるよう模擬練習を行っています。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 | 本社指導の下、夜勤勤務者は防火管理者講習の受講を義務付け、意識の向上を図ると共に、毎月1回は日勤帯・夜勤帯でそれぞれ消防避難訓練を行っています。 | 毎月、消防避難訓練を実施し、年1回消防署の立会いの元指導を受け実践している。火災報知機の操作手順書は写真を取り入れ記入し、手順内容が分かりやすくしている。町内会長からも水害や土砂災害への指南があり、地域防災活動にも参加している。最近では防災食を食べる訓練を実践した。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(東ユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | お一人お一人の自尊心を大切にさせて頂きながら対応しています。毎月「虐待の芽チェックリスト」を用い1ヶ月の業務を振り返り、見直す場面を設けています。 | 平素から言葉で発信していくことに努めている。管理者は言葉掛けを意識してもらえる様に職員との関わりに注意を注いでいる。人格の尊重とプライバシーに関する研修は新人研修でも行い、外部研修にも参加し、伝達研修にて周知に努めている。個人情報の取り扱いも指針に沿って適切に管理されている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | 職員と1対1になる入浴時はくつろいだ気持ちになられ自然に利用者様の思いをお聞きし出来るだけその思いを具体化できるように努めています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | センター方式の中で暮らしの情報(私の暮らし方シート)より利用者様と家族様から伺ったなじみの暮らしが出来るように支援しています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | 2ヶ月に1回訪問理美容に来苑して頂いています。ご希望があれば毛染めやパーマ等近所の美容室でおしゃれを楽しんでいただけるように努めています。入浴されシャンプー後の髪のプロロー等も希望に応じて行っています。現在はできていません。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 3食職員手作りの食事には栄養バランス、色合い、温かいものは温かく、冷たいものは冷やして召し上がって頂くよう配慮しています。食事の準備や後片付けも利用者様に一緒に手伝って頂いています。 | 毎日3食を手作りで美味しい食事を提供できることが事業所一番の特徴である。苑の菜園で採れた野菜などが食卓に上がり、当日にメニューを決め調理できることで、利用者の意向も反映しやすく、季節や旬のものも取り入れて提供されている。おやつ調理レクや行事食の工夫、毎年11月には外食行事を行っている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(東ユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。 | 1日の目標水分量を1500mlと決め、職員は目標に向かって工夫に努めています。水分量、食事量は記録し、一人ひとりの咀嚼、嚥下状態に合わせた食事形態に対応しています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。 | 毎食後の口腔ケアでは必ず仕上げ磨きを行い、清潔保持に努めています。また、定期的に協力歯科医院より口腔ケアと異常の早期発見に努めています。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。 | 排泄チェック表を使用し、排泄リズムを把握し、利用者様ごとのトイレの声かけに努めています。また、適切なパットの使用量・パットの種類の模索に努めています。 | 排泄チェック表を使用し、排泄パターンを個別に掴み、トイレ誘導を行い、随時誘導できるように努めている。パット委員会にて個別の使用状況を把握、検討している。さらに、おむつやパッドの使用を減らすために、夜間でもトイレで排泄するように支援している。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。 | 食事メニューに繊維質が多く含まれる物を取り入れています。毎朝の朝食に乳酸菌を提供し、ラジオ体操、歩行練習を取り入れ、自力排便できるように取り組んでいます。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。 | ご希望の時間に入浴できていないが、希望に沿った曜日に入浴する工夫は行っています。入浴に気分が乗れず拒否される方には相性の良い職員が対応し、世間話から始まり、入浴気分になれるよう工夫しています。 | 週2回の入浴を基本とし、希望があればそれ以上に入浴できるように支援している。利用者の気持ちが乗らない時は職員を変え対応したり、地域近郊にある「湯来温泉がいい」との訴えに湯来温泉の温泉の素を使用したりと気持ちよく入浴してもらえるために工夫を凝らしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(東ユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p> | <p>前日の夜勤者よりの申し送り で夜間の睡眠時間に合わせて日 中の休憩時間も工夫しています。 お一人おひとりの生活習慣で 就寝時間も無理強いせずにご利用 者様のペースに合わせた支援を しています。</p> | | |
| 47 | | <p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p> | <p>一人ひとりが内服される薬の 名称・数量・薬の情報等を確認 し、内服支援しています。 内服時は内服支援の職員・確 認する職員・利用者様の前で 名前・日付の音読し、誤薬事 故を防いでいます。</p> | | |
| 48 | | <p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換 等の支援をしている。</p> | <p>個々の役割や好みの楽しみを 日常生活の中で持っていてくだ くように心がけています。天気 の良い日には近隣の散歩に出 かけ、気分転換をはかっています。</p> | | |
| 49 | 18 | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援してい る。</p> | <p>行きたい所を日頃の会話の中 から把握しており、ご家族の 協力を得て出かけるよう支援 しています。天気の良い日は 近隣の散歩に出かけています。 行事で近所のレストランに外 食に出かける支援も努めてい ます。11月の外食会は中止。</p> | <p>近所の家の花がきれいである ことや畑でなっているものを見 によく散歩に出かけている。日 々の散歩や、花見など外出行 事により季節の移ろいを感じ ながら生活ができています。家 族の協力を得ながら希望に応 じての外出もできるだけの支 援をしている。</p> | |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p> | <p>現在入居されておられる利用 者様からのご希望があれば対 応します。お金は事務所にお 預かりし、必要時は使えるよ うにしています。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(東ユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。 | ご自分から手紙を出されることはないが姉妹や姪、孫からの手紙は利用者様に手渡しています。 電話の希望があれば職員がかけ利用者様にお話ししていただいています。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 玄関ホールには日常の苑の生活の写真が貼られています。玄関からリビングホールへの通路も190cmと広く、利用者が日中過ごされるリビングホールは南側前面掃き出しの窓ガラスで中庭に自由に出入りされ季節感を感じながらのんびりと過ごしていただくよう支援しています。 | リビングは快適な広さが設けられ、食事など飲食をするテーブルスペース以外にソファを多く設置し囲んだ空間があり、利用者がくつろいで団欒がもてるように整備されている。南側の掃出しの窓ガラスにより日当たりよく明るい空間であり、作品などの掲示があり和やかな雰囲気となっている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | 居室で自由にゆっくりされる空間にリビングホールで気の合う利用者様とお茶や食事されたりする空間を過ごせるように工夫しています。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 居室にはなじみの家具や写真等を飾って頂いています。ご自分の家と同様に居心地よく過ごせるように工夫しています。 | ベッドやチェスト、ハンガー掛けは備え付けであり、居室内は本人の使い勝手を尊重したベッドの配置となっており、転倒リスクも考慮し環境を整えている。自身で椅子などこだわりの物を持参されており、作品や写真など飾られ各部屋共にそれぞれの特色のある部屋となっている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | リビングは車椅子やシルバーカー等自由に移動できる十分な広さを確保しています。通路にはすべて手すりが設置され、トイレ内にはファンレストテーブルを設置し、安全性を重視した設計になっています。 | | |

| V アウトカム項目(東ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います | | | |
|--|--|---|---------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 | ○ | ①ほぼ全ての利用者の |
| | | | ②利用者の3分の2くらいの |
| | | | ③利用者の3分の1くらいの |
| | | | ④ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある |
| | | | ②数日に1回程度ある |
| | | | ③たまにある |
| | | | ④ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の3分の2くらいが |
| | | | ③利用者の3分の1くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の3分の2くらいが |
| | | | ③利用者の3分の1くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の3分の2くらいが |
| | | | ③利用者の3分の1くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の3分の2くらいが |
| | | | ③利用者の3分の1くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の3分の2くらいが |
| | | | ③利用者の3分の1くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と |
| | | | ②家族の3分の2くらいと |
| | | | ③家族の3分の1くらいと |
| | | | ④ほとんどできていない |

| | | | |
|----|---|---|---------------|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ | ①ほぼ毎日のように |
| | | | ②数日に1回程度 |
| | | | ③たまに |
| | | | ④ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | ①大いに増えている |
| | | | ②少しずつ増えている |
| | | | ③あまり増えていない |
| | | | ④全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている | ○ | ①ほぼ全ての職員が |
| | | | ②職員の3分の2くらいが |
| | | | ③職員の3分の1くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の3分の2くらいが |
| | | | ③利用者の3分の1くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての家族等が |
| | | | ②家族等の3分の2くらいが |
| | | | ③家族等の3分の1くらいが |
| | | | ④ほとんどできていない |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(西ユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。 | 毎朝の申し送り時に出勤職員全員で唱和し「理念」に添ったケアが出来るように努めています。 | | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | 町内会に加入しており、町内の行事にも参加させて頂いていたが、この度のコロナウイルスにより、外出が難しくなっております。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | 町内会長、副会長や民生委員の方に運営推進会議に出席頂いて、認知症の方々への理解や、消防署、福祉用具、栄養指導等の講師を招いて情報を共に共有できるよう配慮しています。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている。 | 運営推進会議に出席頂いた地域の方、ご家族様より一言ずつコメントを頂き、申し送りで全員に伝達し、サービス向上に努めています。 | | |
| 5 | 4 | ○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。 | 2ヶ月に1回の運営推進会議に地域包括支援センターの職員や広島市認知症地域支援推進員の方に出席いただき、苑での状況や支援の報告をして、それに対してコメントを頂いている。現在コロナウイルスの為書面にて評価して頂いています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(西ユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 身体拘束は基本的に行っていません。玄関の施錠に関しては車の往来等の為やむを得ず行っています。6月下旬に入居された方が離脱願望強いため中庭の扉は閉めさせて頂いております。 | | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。 | 3ヶ月に1回施設内で職員全員を対象に研修しています。毎月のスタッフ会議では「虐待の芽チェックリスト」を無記名で記入し、自己覚知に勤めています。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。 | 毎月の勉強会に今後も権利擁護、成年後見制度を勉強して参ります。成年後見制度のパンフレットは職員が目を通すよう努めております。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 入居契約時は管理者・計画作成担当者が十分な時間を取り、説明を分かりやすく行っています。理解・納得して頂ける様努めています。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | コロナウイルスの為電話にて家族様に現状を報告し、頂いた意見はケアに反映しております。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(西ユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | 毎月定期的に行うスタッフ会議に代表取締役の出席を仰ぎ、職員からの意見を聞き、運営に役立てるように努めています。 | | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。 | 管理者として、職員が疲弊しないよう勤め、有給休暇の利用等鑑みて、職員の仕事への意欲を削ぐ事のないよう努力しております。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。 | 職員に必要な研修を受ける配慮をしつつ、現状では書物を回し読みし、向上心を持って貰う努力はしております。5月の勉強会は介護記録の内容を話し合う予定です。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | 佐伯区グループホームネットワークに参加している同業者と情報交換を行う予定です。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。 | 入居前、入居時、利用者様と会話をしながら、方向性をお互いに考え、安心した生活が出来るよう配慮しています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(西ユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p> | <p>不安なく生活を始められるよう利用者様家族様と話し合いを持ち、変化に即した話し合いをこまめに行っていきます。</p> | | |
| 17 | | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p> | <p>利用者様の思い、家族様の思いを鑑み、変化があればその時にカンファレンスを行ない、プランの変更を行います。</p> | | |
| 18 | | <p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p> | <p>暮らしを共にする者同士として、一緒に食事の献立を考え、副菜を取り分けたり、食器拭きをして頂く。洗濯物干し、洗濯物たたみ、掃除を一緒に行っています。</p> | | |
| 19 | | <p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p> | <p>現在は面会出来ない状況下、写真を添えて生活のお姿を書面で送付したり、家族様が庭の桜を持って来られたら、マスクをお互いにされて、会話を少しの時間されています。職員が必ずお付きしております。</p> | | |
| 20 | 8 | <p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p> | <p>コロナウイルスの前までは、以前住んでおられた町内会の友人数名面会にいられていました。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(西ユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | 仲良くなられた利用者様同士が悩み事を相談したり励ましあい、支え合いながら生活されている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | 4月半ば退所された利用者様が突然家族を探しに来苑され、家族様が迎えに来られる関係を継続しております。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | ご本人の思いやペースにできるだけ応えられるよう配慮している。家事などの軽作業や趣味でされていた絵、カレンダー作り等で發揮していただいている。自室で過ごすことがお好きな方には尊重しつつもリビングに出て頂く理由付けを考え対応している。 | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 使い慣れた家具や見慣れた洋服、趣味の道具等を持参していただいている。長年使われている化粧品やクリーム等の日用品を切らさないようご家族への購入依頼や時にはお預け頂いている小口現金で購入代行している。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | 利用者の変化や希望等を施設長・看護師への報告を行い記録に残し、申し送りの中で伝え合い併せて連絡ノートにも記載してこちらから日々の情報収集を行い全スタッフが共有できるよう努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(西ユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。 | ご家族の要望やスタッフの意見を反映し計画作成担当者がケアプランを作成している。また、6か月に1回のモニタリングを行ってご本人に適した実施状況であるか評価している。日々のモニタリングを行っている。 | | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 | 毎日、介護記録を記入している。また、日々のモニタリングを実施しプランに沿ったサービスが行えているか評価して介護計画に見直しに役立っている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。 | 常に本人の思いに耳を傾け本人主体の支援が行われるよう努めている。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。 | 地域の行事に参加させて頂いている。また町内会の有価資源ごみ収集にも協力させて頂いている。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。 | 入居時、苑の協力医の説明を行うと同時に、今までのなじみのかかりつけ医を選ばれることも自由である旨を説明している。協力医とは24時間の連絡がとれ緊急時の対応がとれる体制もっている。日常生活での健康管理も細かく指導を頂いたり必要時の入院先の確保にも安心して相談できるよう支援している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(西ユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。 | 排泄介助や入浴介助等で皮膚トラブル、排泄物の性状等に気づきがあれば看護師に報告している。また、看護師からは内服薬の変更等その都度情報として伝えている。日常的な変化を看護師へ伝え看護師から主治医へと報告し主治医の指示のもと看護・介護業務を行っている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 主治医により入院する病院との連携がとられ苑からも本人の日常生活動作の情報提供を行い安心して治療が行える体制作りを整えている。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | 契約時に重度化についての説明を行い必要時には入居者様・ご家族様・かかりつけ医・苑で充分話し合いを重ね、今後の方針を決めていくようにしている。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。 | 各自急変および事故発生時のマニュアルを持ちスタッフ会議の中で勉強会をしている。1月には「危険予知訓練」という勉強会を行い現場で活かせるよう皆で学んだ。119晚通報を落ち着いて状況報告できるよう模擬練習を行っている。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 | 本社指導の下、夜勤勤務者は防火管理者講習の受講を義務付け、意識の向上を図ると共に、毎月1回は日勤帯・夜勤帯でそれぞれ消防避難訓練を行っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(西ユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | お一人お一人の自尊心を大切にさせて頂きながら対応している。毎月「虐待の芽チェックリスト」を用い1ヶ月の業務を振り返り、見直す場面を設けている。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | 共同生活の中でも一人ひとりのペースを尊重できるよう心がけている。集団活動では無理強いしないよう対応し、お気持ちを声に出しやすくできるよう語りかけをしている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | センター方式の中で暮らしの情報(私の暮らし方シート)より本人様とご家族様から伺ったなじみの暮らしが出来るように支援している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | 2ヶ月に1回訪問理美容に来苑して頂いている。ご希望があれば毛染めやパーマ等近所の美容室でおしゃれを楽しんでいただけるように努めている。入浴されシャンプー後の髪のプロロー等も希望に応じている。現在はできていない。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 3食職員手作りの食事には栄養バランス、色合い、温かいものは温かく、冷たいものは冷やして召し上がって頂くよう配慮している。食事の下準備や後片付けも利用者様に一緒に手伝って頂いている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(西ユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。 | 1日の目標水分量を1500mlと決め、職員は目標に向かって工夫に努めている。水分量、食事量は記録し、一人ひとりの咀嚼、嚥下状態に合わせた食事形態に対応している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。 | 毎食後の口腔ケアでは必ず仕上げ磨きを行い、清潔保持に努めている。また、定期的に協力歯科医院より口腔ケアと異常の早期発見に努めている。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。 | 排泄チェック表を使用し、排泄リズムを把握し、利用者様ごとのトイレの声かけに努めている。また、適切なパットの使用量・パットの種類の模索に努めている。 | | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。 | 食事メニューに繊維質が多く含まれる物を取り入れている。毎朝の朝食に乳酸菌を提供し、ラジオ体操、歩行練習を取り入れ、自力排便できるように取り組んでいる。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。 | ご希望の時間に入浴できていないが、希望に沿った曜日に入浴する工夫は行っている。入浴に気分が乗られず拒否される方には相性の良い職員が対応し、世間話から始まり、入浴気分になれるよう工夫している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(西ユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p> | <p>前日の夜勤者よりの申し送り で夜間の睡眠時間に合わせて日 中の休憩時間も工夫している。 お一人おひとりの生活習慣で 就寝時間も無理強いせず本人 のペースに合わせた支援をして いる。</p> | | |
| 47 | | <p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めて いる。</p> | <p>一人ひとりが内服される薬の 名称・数量・薬の情報等を確認 し、内服支援している。 内服時は内服支援の職員・確 認する職員・利用者様の前で 名前・日付の音読み、誤薬事 故を防いでいる。</p> | | |
| 48 | | <p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換 等の支援をしている。</p> | <p>個々の役割や好みの楽しみを 日常生活の中で持たせていただ くように心がけている。天気 の良い日には近隣の散歩に出 かけ、気分転換をはかっている。</p> | | |
| 49 | 18 | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、 家族や地域の人々と協力しな がら出かけられるように支援 している。</p> | <p>行きたい所を日頃の会話の中 から把握しており、ご家族の 協力を得て出かけるよう支援 している。天気の良い日は近 隣の散歩に出かけている。行 事で近所のレストランに外食 に出かける支援も努めている。 11月の外食会は中止。</p> | | |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一 人ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p> | <p>現在入居されておられる利用 者様からのご希望があれば対 応する。お金は事務所にお預 かりし、必要時は使えるよう にしている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(西ユニット) | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | 上記項目欄の()内へユニット名を記入願います | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。 | ご自分から手紙を出されることはないが姉妹や姪、お孫様からの手紙は本人に手渡している。 電話の希望があれば職員がかけご本人にお話ししていただいている。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 玄関ホールには日常の苑の生活の写真が貼られている。玄関からリビングホールへの通路も190cmと広く、利用者が日中過ごされるリビングホールは南側前面掃き出しの窓ガラスで中庭に自由に出入りされ季節感を感じながらのんびりと過ごしていただくよう支援している。 | | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | 居室で自由にゆっくりされる空間にリビングホールで気の合う利用者様とお茶や食事されたりする空間を過ごせるように工夫している。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 居室にはなじみの家具や写真等を飾って頂いている。ご自分の家と同様に居心地よく過ごせるように工夫している。 | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | リビングは車椅子やシルバーカー等自由に移動できる十分な広さを確保している。通路にはすべて手すりが設置され、トイレ内にはファンレストテーブルを設置し、安全性を重視した設計になっている。 | | |

| V アウトカム項目(西ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います | | | |
|--|--|---|---------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 | ○ | ①ほぼ全ての利用者の |
| | | | ②利用者の3分の2くらいの |
| | | | ③利用者の3分の1くらいの |
| | | | ④ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある |
| | | | ②数日に1回程度ある |
| | | | ③たまにある |
| | | | ④ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の3分の2くらいが |
| | | | ③利用者の3分の1くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の3分の2くらいが |
| | | | ③利用者の3分の1くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の3分の2くらいが |
| | | | ③利用者の3分の1くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の3分の2くらいが |
| | | | ③利用者の3分の1くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の3分の2くらいが |
| | | | ③利用者の3分の1くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と |
| | | | ②家族の3分の2くらいと |
| | | | ③家族の3分の1くらいと |
| | | | ④ほとんどできていない |

| | | | |
|----|---|---|---------------|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ | ①ほぼ毎日のように |
| | | | ②数日に1回程度 |
| | | | ③たまに |
| | | | ④ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | ①大いに増えている |
| | | | ②少しずつ増えている |
| | | | ③あまり増えていない |
| | | | ④全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている | ○ | ①ほぼ全ての職員が |
| | | | ②職員の3分の2くらいが |
| | | | ③職員の3分の1くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の3分の2くらいが |
| | | | ③利用者の3分の1くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての家族等が |
| | | | ②家族等の3分の2くらいが |
| | | | ③家族等の3分の1くらいが |
| | | | ④ほとんどできていない |

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームほのぼの苑五日市八幡

作成日 令和2年10月14日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点, 課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|------------------------------|--|--|------------|
| 1 | 10 | 認知力低下の中、利用者様がお誕生日を覚えておいて欲しい。 | 利用者様各々のお誕生日に担当者をつけ、希望を叶えられる様話し合う関係を作る。 | 誕生日に向けて、何がしたいか、どこに行きたいか、何を食べたいか本などを見て話し合う。 | 1年 |
| 2 | 49 | 苑外散歩を出来る機会を増やしたい。 | 外の空気を吸う事により、心身共にリフレッシュできる。 | 職員が意識して外出を働きかける。 | 1年 |
| 3 | 57 | 利用者様を深く理解したい。 | 利用者様の思い・願いを把握した行動を取れる。 | 利用者様一人一人とゆっくり寄り添って会話をすることで本音を探る。 | 1年 |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。